

目標: クリスマスの物語を確認することを通し、その意味を深く考える。
 聖句: 「きょう、ダビデの町に、あなたがたのために救主がお生れになった。このかたこそ主なるキリストである。ルカ2:11」
 時間: 10分
 道具: ホワイトボード、ペン、内容を文章で書き表している紙×
 対象者: 小6×1 小5×1 小4×1 小3×1 小3×3 小1×2 未就園児×5
 留意点: イエス様のご降誕は、毎年語られる内容なので、子供たちの多くは内容を知っている。既知の事項を踏まえながら進めたい。

段階	時間	教師から	子供に予想される反応	備考
課題確認	2分	きょうはクリスマスです。待ちに待った救い主のイエス様が生まれて下さった日です。どんなことが起きたのでしょうか	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘロデ大王がイエス様を殺そうとした ・ベツレヘムで生まれた。 ・馬小屋で生まれた。 ・天使が讚美をした ・羊飼いが礼拝しに来た ・東方の博士たちが贈り物を持ってやってきた。 	<p>実際には降誕の季節は冬ではなかったと言われるが、ここでは触れない。 これはクリスマス前後のことなので、今回は取り扱わない。 おそらくこの5項目程度が子供たちから出ると思われる。 あらかじめボードに書いておき、それをもとに次の探求に入る。 出なかったら、ストーリーを振り返らせ、その中で思い出させたい。 時系列順に5枚の紙をボードに貼り、その意味を脇に記入していく。 分からないという反応が多いかもしれないが、考える訓練にもなると思うので、問いかけることはやめないようにしたい。</p> <p>天使の賛美については、質問を割愛していいだろう。</p> <p>羊飼いの反応が、私たちのすべきことを表している。最下層民だから来たのではないことには注意すべきである。 最下層民とされた人々でも、主は最初の礼拝者として遇したのである。 距離の関係とか、社会的な問題とかではなく、彼らの礼拝する心と、その心を神は迎え入れて下さることをおさえたい。</p>
課題探究	6分	<p>ベツレヘムで生まれたのはどういう意味があるのでしょうか。</p> <p>馬小屋でとはどういう意味でしょうか。</p> <p>天使の賛美はどういう意味でしょうか。</p> <p>羊飼いが来たとはどういう意味でしょう。 <small>補)当時羊飼いは一番軽く見られていた人々でした。</small></p> <p>東方の博士たちの贈り物はなんでしたか。</p> <p>それぞれどんな意味があるのでしょうか。 黄金は王様であるし、乳香は高貴な人への香りのささげもの、没薬はイエス様の埋葬のためのお薬でした。</p> <p>全体をもう一度見ましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分からない ・旧約聖書の成就 ・小さい者と共に主はおられる ・分からない ・臭いところ ・一番低いところ ・分からない ・神様の御心が成って、天が喜んでいる。 ・分からない ・羊飼いが救い主イエス様を世界で初めて見たということです。 ・黄金 ・乳香 ・没薬 	<p>これは問いかけるだけで、教師側からの説明だけにとどめたい。 没薬については時間を割けばいくらでも霊想ができるのだが、今回は触れるのみにとどめ、次回以降のお話ののだが、今回は触れるのみにとどめ、次回以降のお話のとっかかりとしたい。 起きたこととその意味を、声に出して読む。 子供たちと一緒に読めるように板書を工夫したい。 183号テキスト全体のテーマからの反映として、この事柄を信じさせたい。</p>
まとめ	2分	クリスマスに、神さまはいかに真実な方かをお示し下さいました。感謝して主をお迎えしましょう。 暗誦聖句		